



坂野 聡美さん 椿 恵美子さん
Sakano Satomi Tsubaki Emiko

さかの さとみ・つばき えみこ / 〔上田口区〕 〔岩下二区〕
甲佐町社会福祉協議会職員として、介護予防サテライト事業の運営に取り組む。

明るい笑顔で地域の高齢者の暮らしを支え続ける

「参加者の皆さんから『再開を待ってたよ』とか『久しぶりに参加したけど楽しかったよ』と言ってもらえたのはすごくうれしいですね」と明るい笑顔で話すのは、3カ月ぶりに再開した介護予防サテ

ライト事業の運営に取り組む坂野聡美さん（上田口区）と椿恵美子さん（岩下二区）。介護予防とは、高齢者がかできる限り要介護状態に陥ることなく、生き生きとした生活を送れるよう支援すること。

サテライト事業では、加齢に伴う運動機能の低下を予防するための体操や認知機能低下を防ぐためのゲームなどを老人いこいの家や各地域の高齢者福祉センターを巡回しながら地域ボランティアの協力を得て実施している。

2人は同事業に15年以上携わっており、二人三脚で本町での高齢者の暮らしの一端を支えてきた。

しかし、新型コロナウイルスの影響で3月から活動を休止。ここまで長い期間、活動を行わなかったのは初めてという坂野さんは「活動休止中に認知機能の低下などが進んで要介護状態に陥ってしまう方がいないか心配でしたが、皆さんの笑顔を見て安心しました」と安堵の表情を見せる。

「休止期間中には、皆さんにご自宅でも運動を続けてもらおうよう促す手紙を書きました。また、色塗りなどの頭の体操になる宿題を出したり、電話で近況を確認したりとできる限り皆さんに寄り添うことを心掛けました」と椿さん。

現在、参加者同士の距離確保やマスクの着用、普段行っている昼食の提供を取り止めるなど感染症対策を徹底しながら試行錯誤の毎日をおこなう。「重症化しやすいとされる高齢者の感染対策と運動不足による機能低下の対策を両立させつつ、できる限り皆さんとの時間を楽しみたいです」と話す2人は参加者の笑顔に元気をもらいながら地域で暮らす高齢者の明日を支え続ける。